

天ぷら油200℃大火傷 皮膚細胞再生 根本治癒実験

平成19年7月25日料理中～200℃の天ぷら油、腹、腕に掛かり大火傷。激痛皮膚に猛烈な破壊が起こり、通常ケロイドに成りますがバイオ製品使用后、火傷の損傷破壊の痛みは30分で沈下した。バイオ技術の内部に組み込まれた電子は、暗闇でも植物の光合成を活性効果。植物野菜の葉は下を向いていた2週間後～しわが伸び人類の若返り科学的根拠を発見した。細胞内部は（鉄。銅。亜鉛。マンガン。セレン）が組み込まれ、バイオ電子で細胞活性。「陰」と「陽」細胞組織がアメーバ増殖して「表皮。真皮。皮下組織。バリアーゾーン。基底層」…2か月後～36兆個の細胞組織が基底層から結合して、傷跡が残らず根本治癒した。

皮膚に傷が着き治る時かさぶた傷後が残ります。バイオ技術処理後、傷跡は残らず根本治癒した。困った難問題解決応用技術は、老化した皮膚細胞若返り技術。美容外科手術の傷跡再生。スポーツ選手の打撲。疲労。捻挫。痛み改善…バイオ技術は、壊れた細胞組織の根本治癒技術です

平成19年7月25日 大火傷映像



平成19年9月25日 大火傷再生映像

